

医療の「安全・安心」を支援し、医療従事者の皆さんに医療用語を「共通言語」で語ってほしい」という願いから、病名や医薬品名の統合データベース「ディカプレット」を開発、今年から本格販売を始めました。フリーソフトや、電子カルテなどの医療用の各種システムと連動させて、医療情報の辞書、検索ソフトとして使えます。

例えば通称病名の「五十肩」と標準病名の「肩関節周囲炎」では保険で使える医薬品の種類が20倍も違うなど、ちょっとした違いが大きな差異となることがあります。同じ効果の医薬品でもメーカーごとに名前が異なり、医療現場で使用する「病名」「医薬品名」が正確に記録・伝達されることは、治療上必要なだけでなく、医療ミスの防止や業務の効率化にもつながると考えています。

ディカプレットは、マイクロソフト社の基本ソフト「ウィンドウズ」に搭載されている、かな漢字変換ソフト「MS-IME」と連動させることで、ウィンドウズ上のあるゆる応用ソフトで医療用語やコードの入力、検索が可能。掲載の医薬品は約2万種、用語は約100万語に上る。表現の「揺れ」を少なく

アイティーコーディネート社長

木下雅善さん

開拓者

することで、転院した場合でもスムーズに治療が続けられますし、保険請求などの医療事務や疫学的統計もより正確にできるようになるわけです。

検索したい言葉を入力して標準病名や対応する医薬品名を引いたり、特定の病気の人の使っている薬、薬価が安い順に医薬品を並べ替えるなど使い方は幅広い。特に後発(ジェネリック)医薬品を使うときには有効で、医療費削減にも役立つと期待しています。

データベースは毎月オンラインで更新。使う病院側にとっては毎月数十から数百更新される新たな医薬品情報に対応できるし、細くても息長く商売できます。

コンピューター歴は30年を軽く超え、アスキー、日本IBM、マイクロソフトなど、日本のコンピューター、ネット業界を代表する企業群とかかわり続けてきた。

医療分野との出会いは、二十数年前。ある大学病院がウィンドウズのテスト版を導入しようとしたときに、かかわったのがきっかけでした。その大学とは困ったことがあれば相談を受けるような関係が続け、平成12年に先進医療情報システムの具体化のためにインターネット総合研究所の藤原洋さんらに出資していただいた立ち上げたのがアイティーコーディネートです。

病院の内側は、画像やデータ、いろんなシステムが多岐にわたって凝縮したITの集大成。やりがいに加え、人としての医師の心の

医療に役立つ検索ソフト



深さ、優しさに引きつけられました。経営理念は「技術に走らず、利用者を考えよ」。事業方針として「ニッチ性の追求」を掲げ、専門性を大事にしつつ「個人」に焦点を当てていきたい。

(聞き手 納富優香)

データ

アイティーコーディネート 平成12年11月設立
 ▼資本金2億5000万円▼本社・東京都港区
 売上高・約4億円▼従業員15人▼ホームページは
<http://www.itcoordinate.co.jp/index.html>